

課外活動例・基準ポイント・申請許可一覧（2018年4月1日改定）

※各申請書は、ダウンロードして使用すること。

	対象となる課外活動	認定ポイント	審査・申請許可をする教員
学部内 (様式A)	地域研究学会運営委員（年間）	15	運営委員長が審査し、申請を許可。
	Asia Mix（コアスタッフ）	10	運営委員長が審査し、申請を許可。
	Asia Mix（料理班スタッフ）	5	運営委員長が審査し、申請を許可。
	ALSC 実行委員	10	実行委員長が審査し、申請を許可。
	ALSC 出場者（スピーカー）	10	審査不要。申請を希望する本人が直接事務室に提出。
	研究班活動（年間）	15（上限）	顧問が審査しポイントを決定、申請を許可。※1
	その他の実行委員会など	15（上限）	実行委員長が審査し、申請を許可。 ※1

大学内 (様式B)	学生自治会（中央執行委員や大東祭実行委員など）	15	（演習担当教員、申請許可）
	ESC 実行委員	10	（演習担当教員、申請許可）
	ESC スピーカー	10	審査不要。申請を希望する本人が直接事務室に提出。
	その他の実行委員会など	15（上限）	（演習担当教員、申請許可）※1
	国際交流ボランティア （国際交流センター受付）	15（上限）	国際交流センター発行書類添付 （国際交流委員長、申請許可）

学外 (様式C) ※2	海外視察 （旅行・インターンシップ）	1（1日）	所定の報告書（演習担当教員、申請許可）およびパスポートの顔写真ページ出入国スタンプページ
	ボランティア（国内）	2（1日）	所定の報告書を提出。 （演習担当教員、申請許可）※3
	ボランティア（海外）	3（1日）	所定の報告書を提出。 （演習担当教員、申請許可）※3
	スピーチコンテスト出場者	10	所定の報告書および出場が証明できるパンフレット等を提出。 （演習担当教員、申請許可）

- ※1 学部内（様式A）、大学内（様式B）の活動のうち、上限のあるものについては、4 時間相当の活動を1ポイントに換算する。
- ※2 学外（様式C）は、4時間以上を1日と考える。
- ※3 ボランティアに参加したことがわかる書類（参加日時、時間、活動内容が明記されていること）。  
なお、海外に関しては、パスポートの顔写真ページおよび出入国スタンプページの提示が必須。

### 審査及び申請許可を行う「演習担当教員」

	2018年度までの入学者	2019年度以後の入学者
1年次	チュートリアル担当教員	チュートリアル担当教員
2年次	1年次のチュートリアル担当教員	基幹演習I・IIの担当教員
3年次	専門演習の担当教員	専門演習担当教員
4年次	卒業論文演習の担当教員	卒業論文演習担当教員

以上